

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	内田正章 Masaaki UCHIDA
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを守って利用できる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス インターネットの利用法について	総合情報センタ利用案内、moodleの利用法				
第2回		電子メールによる情報の受信・発信				
第3回		インターネット利用における注意について(IPA教材)				
第4回		情報社会の個人情報と知的財産				
第5回		情報社会における生活、セキュリティを守る技術				
第6回		復習				
第7回	前期中間試験					
第8回	試験返却 オフィスソフトの利用方法について	解答解説 スプレッドシート				
第9回		スプレッドシート				
第10回		ワードプロセッサ				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		プレゼンテーション				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		復習				
第15回	前期末試験 試験返却	解答解説 プレゼンテーション発表				
第16回	コンピュータの仕	コンピュータの仕組み				
第17回		コンピュータの仕組み				
第18回		情報のデジタル表現				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報ネットワーク				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		復習				
第23回	後期中間試験					
第24回	試験返却 コンピュータを利用した問題解決	解答解説 コンピュータを利用した問題解決				
第25回		コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		復習				
第31回	学年末試験 試験返却 授業アンケート	解答解説、アンケート コンピュータを利用した問題解決				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	内田正章 Masaaki UCHIDA
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを守って利用できる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス インターネットの利用法について	総合情報センタ利用案内、moodleの利用法				
第2回		電子メールによる情報の受信・発信				
第3回		インターネット利用における注意について(IPA教材)				
第4回		情報社会の個人情報と知的財産				
第5回		情報社会における生活、セキュリティを守る技術				
第6回		復習				
第7回	前期中間試験					
第8回	試験返却 オフィスソフトの利用方法について	解答解説 スプレッドシート				
第9回		スプレッドシート				
第10回		ワードプロセッサ				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		プレゼンテーション				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		復習				
第15回	前期末試験 試験返却	解答解説 プレゼンテーション発表				
第16回	コンピュータの仕	コンピュータの仕組み				
第17回		コンピュータの仕組み				
第18回		情報のデジタル表現				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報ネットワーク				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		復習				
第23回	後期中間試験					
第24回	試験返却 コンピュータを利用した問題解決	解答解説 コンピュータを利用した問題解決				
第25回		コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		復習				
第31回	学年末試験 試験返却 授業アンケート	解答解説、アンケート コンピュータを利用した問題解決				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	望月孔二 Kouji MOCHIZUKI
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを守って利用できる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス インターネットの利用法について	総合情報センタ利用案内、moodleの利用法				
第2回		電子メールによる情報の受信・発信				
第3回		インターネット利用における注意について(IPA教材)				
第4回		情報社会の個人情報と知的財産				
第5回		情報社会における生活、セキュリティを守る技術				
第6回		復習				
第7回	前期中間試験					
第8回	試験返却 オフィスソフトの利用方法について	解答解説 スプレッドシート				
第9回		スプレッドシート				
第10回		ワードプロセッサ				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		プレゼンテーション				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		復習				
第15回	前期末試験 試験返却	解答解説 プレゼンテーション発表				
第16回	コンピュータの仕	コンピュータの仕組み				
第17回		コンピュータの仕組み				
第18回		情報のデジタル表現				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報ネットワーク				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		復習				
第23回	後期中間試験					
第24回	試験返却 コンピュータを利用した問題解決	解答解説 コンピュータを利用した問題解決				
第25回		コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回		復習				
第32回	学年末試験 試験返却 授業アンケート	解答解説、アンケート コンピュータを利用した問題解決				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期期末試験15%、前期期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることも有る。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	鈴木康人 Yasuhito SUZUKI
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)						
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを守って利用できる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス インターネットの 利用法について	総合情報センタ利用案内、moodleの利用法				
第2回		電子メールによる情報の受信・発信				
第3回		インターネット利用における注意について(IPA教材)				
第4回		情報社会の個人情報と知的財産				
第5回		情報社会における生活、セキュリティを守る技術				
第6回		情報社会における生活、セキュリティを守る技術				
第7回		復習				
第8回	前期中間試験					
第9回	試験返却	解答解説				
第10回		スプレッドシート				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		ワードプロセッサ				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		プレゼンテーション				
第15回		復習				
	前期末試験					
第16回	試験返却	解答解説				
第17回	コンピュータの仕組み	コンピュータの仕組み				
第18回		コンピュータの仕組み				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報のデジタル表現				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		情報ネットワーク				
第23回		復習				
第24回	後期中間試験					
第25回	試験返却	解答解説				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回		コンピュータを利用した問題解決				
第32回		復習				
	学年末試験					
第33回	試験返却 授業アンケート	解答解説、アンケート コンピュータを利用した問題解決				
評価方法 と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期期末試験15%、前期期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	長澤正氏 Masashi NAGASAWA
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを守って利用できる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス インターネットの利用法について	総合情報センタ利用案内、moodleの利用法				
第2回		電子メールによる情報の受信・発信				
第3回		インターネット利用における注意について(IPA教材)				
第4回		情報社会の個人情報と知的財産				
第5回		情報社会における生活、セキュリティを守る技術				
第6回		復習				
第7回	前期中間試験					
第8回	試験返却 オフィスソフトの利用方法について	解答解説 スプレッドシート				
第9回		スプレッドシート				
第10回		ワードプロセッサ				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		プレゼンテーション				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		復習				
第15回	前期末試験 試験返却	解答解説 プレゼンテーション発表				
第16回	コンピュータの仕	コンピュータの仕組み				
第17回		コンピュータの仕組み				
第18回		情報のデジタル表現				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報ネットワーク				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		復習				
第23回	後期中間試験					
第24回	試験返却 コンピュータを利用した問題解決	解答解説 コンピュータを利用した問題解決				
第25回		コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回		復習				
	学年末試験					
第32回	試験返却 授業アンケート	解答解説、アンケート コンピュータを利用した問題解決				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期期末試験15%、前期期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					